

**製品名: PIK3R1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81167**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:100-1:200,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	83.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PIK3R1
別名	p85; GRB1; p85-ALPHA
遺伝子 ID	5295.0
SwissProt ID	P27986
免疫原	大腸菌で発現したヒト PIK3R1 (AA: 159-388) の精製された組み換え断片。

**背景**

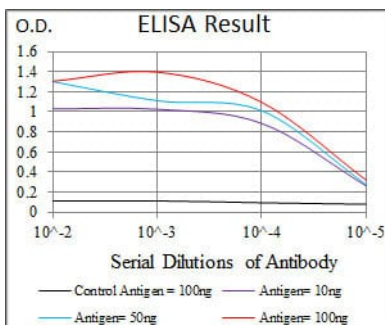
ホスファチジルイノシトール 3-キナーゼは、ホスファチジルイノシトールのイノシトール環の 3'位をリン酸化します。この酵素は、110 kD の触媒サブユニットと、85、55、または 50 kD の調節サブユニットで構成されています。この遺伝子は、85 kD の調節サ

プユニットをコードしています。ホスファチジルイノシトール 3-キナーゼはインスリンの代謝作用において重要な役割を果たしており、この遺伝子の変異はインスリン抵抗性と関連付けられています。この遺伝子の選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする4つの転写バリエーションが生成されます。

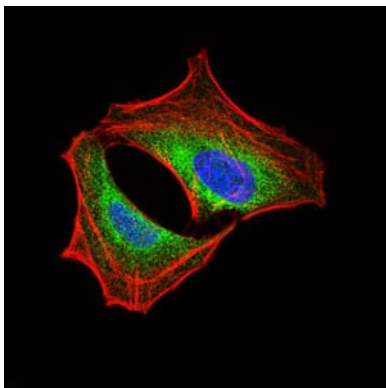
## 研究分野

TGF- $\beta$  シグナル伝達経路、PI3K-Akt シグナル伝達経路、Jak-STAT シグナル伝達経路

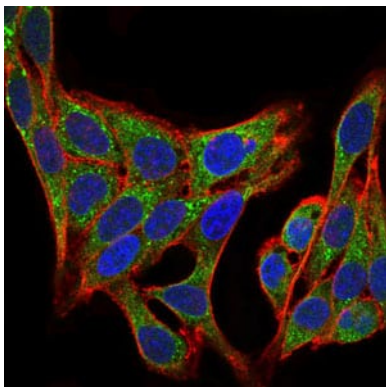
## 画像データ



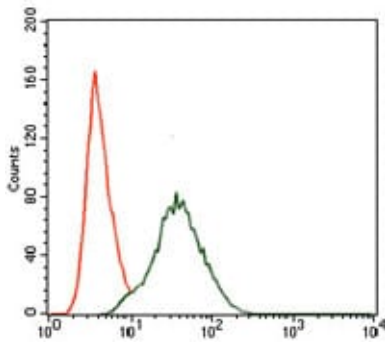
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



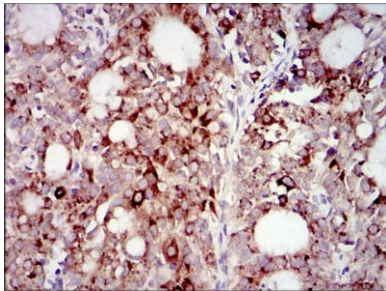
PIK3R1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



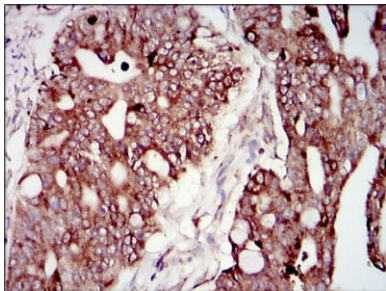
PIK3R1 マウス mAb (緑) を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PIK3R1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した NIH3T3 細胞のフローサイトメトリー分析。



PIK3R1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



PIK3R1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。